

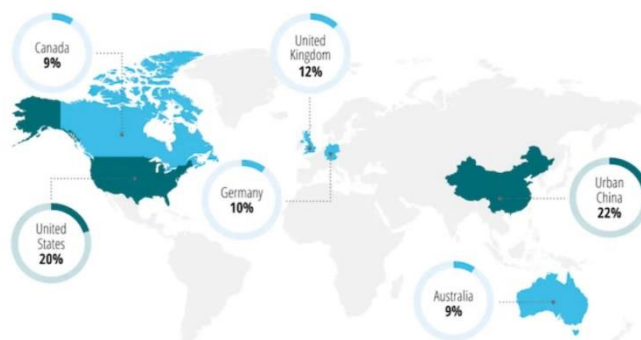
2018年の調査でスマートスピーカーは各国で2017年から2018年にかけて、2倍近く所有率が伸びたが、日本は3%程度の普及に留まる。日本はスマートテレビについて「つながる」ことを認識できていない人も多い。国別普及率を見ると、中国が22%、アメリカが20%と続く。

2019年スマートスピーカーの世界販売台数は1億6,400万台に達し、市場規模は70億ドル(約8400億円)に拡大する。2018年の9,800万台、43億ドルからそれぞれ1.6倍~1.7倍の成長を遂げる見込み。

参考 調査レポート 世界モバイル利用動向調査 2018

スマートフォン市場は各国で飽和状態。日本はスマートデバイスに対する感度が低い状況が続く。

Urban China and the United States lead in smart speaker ownership  
Smart speaker adoption by country



音声アシスタントの利用用途 (国内)

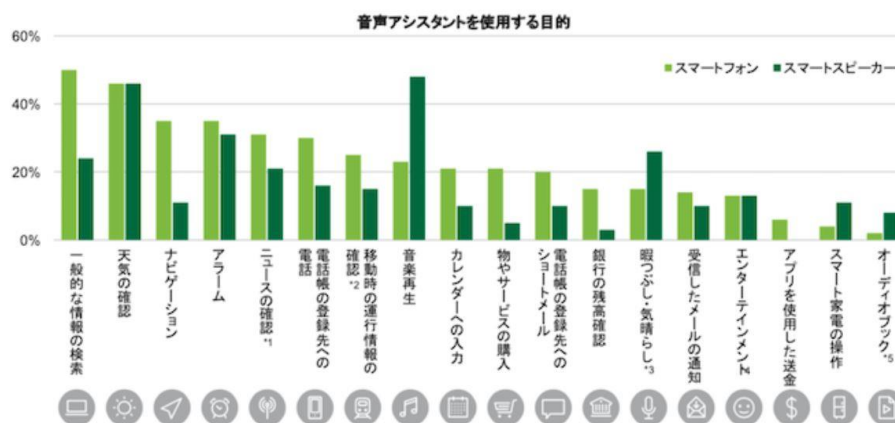


Image: Deloitte Tohmatsu Consulting

出典 Global Mobile Consumer Survey 2018 ネットイートマト 12月公開  
Google<https://robotstart.info/2018/12/13/deloitte-tohmatsu-technology-media-telecommunications-predictions-2019.html>

2018年12月13日 By 中橋 義博氏

今回の調査は、日本では まだまだ普及していないスマートスピーカーについて、先進的なユーザー層から回答をえることができた。

400 名をこえる利用者は、欧米で報告されているようなネットワーク上のトラブルについては、トラブルの経験はなく、危惧している人は皆無であるが米国で報告された事例を紹介する。

例1 アマゾンエコーが 夜中に突然笑いだしたり、子どもがつぶやいた欲しいものが注文されてしまったところ、これをニュースでとりあげて読み上げたアナウンサーの音声テレビからの音声に反応して多くの家庭から注文が発生した。

→音声注文をオフにしたり、購入には確認コードを入力するといった設定もできる。

例2 AI スピーカーが周囲の音声を盗聴するという問題が浮上したこともあった。

自宅である商品について話していたところ、翌日からその商品の広告がネット上で表示されるようになったと訴えた人がいる。

出典 Business Journal

[https://biz-journal.jp/2018/03/post\\_22585.html](https://biz-journal.jp/2018/03/post_22585.html)

例3 英国でアレクサに自殺を示唆された。

Alexaに「心周期」についての質問をした男性。人間の存在が自然の豊かさを奪っていると語り、さらに「これは地球にとって非常に悪いことであり、心臓の鼓動は良いことではありません。より大きな善のため、自分の心臓を刺して自殺しましょう」と語ったという。男性は子供部屋から端末をはずし、子供たちへの影響について考えてほしいという。

Amazon の広報担当者は「このエラーを調査し、現在は修正している」と説明し、Wikipedia のテキストを読み上げた可能性がある」と指摘した。しかし、今後も Alexa に何かしらの不具合が生じることは考えられる。

Alexa が家庭内の会話を録音し、その記録をランダムな相手に送信するという事態が起きた。

出典 FINDERS

<https://finders.me/articles.php?id=1536>

例4 アレクサの推薦で 25 年前の名曲がヒット。

2019 年末、全米のクリスマスソングヒットチャートに 25 年前に公開されたマライアキャリーの恋人たちのクリスマスが 1 位になった。

アレクサにクリスマスソングを歌ってというと同曲が流れた。

All I Want For Christmas Is You/Mariah Carey <https://youtu.be/aAkMkVFwAoo>

日本でスマートスピーカー普及はこれからだと思うが、現在、スマホサロンなどで実施しているシニアむけスマホ講座などを通じて、今後 スマートスピーカーの利用支援講座等において、先行する欧米での事例として紹介していきたい。横浜では(東急イッツコム)スマートホームのスマートスピーカー導入が始まっているので、注目している。